

メビシ, ヒメシロアサザ, ミカワタヌキモ,  
コタヌキモ, ヒメタヌキモ, マルバオモダカ,  
セトヤナギスブタ, コウガイモ, オヒルムシ  
ロ, イバラモ, ミズアオイ, ウキガヤ, ミク  
リ

絶滅危惧Ⅱ類: デンジソウ, サンショウモ, オ  
オアカウキクサ, ヒメコウホネ, オグラノフ  
サモ, スブタ, ササバモ, イトモ, サガミト  
リゲモ, オオトリゲモ, シズイ

準絶滅危惧: ミズニラ, マツモ, オニビシ, タ  
チモ, ガガブタ, トチカガミ, セキショウモ,  
エビアマモ, コアマモ, リュウノヒゲモ, カ  
ワツルモ, ウキシバ, ヤマトミクリ

(角野康郎)

○川道美枝子・岩槻邦男・堂本暁子(編)『移入・  
外来・侵入種—生物多様性を脅かすもの』(築地  
書館, 2001年12月, 四六判, 333頁, 2,800円+税)

移入種の問題は, 動物, 植物を問わず生物多様  
性保全の観点から深刻な問題であるという認識が  
ようやく広がり始めた。本書は15章からなり, さ  
まざまな生物群における移入種の現状とどのよう  
な問題を引き起こしているかを紹介している。さら  
に世界自然保護連合(IUCN)による取り組み  
や移入種に対する法規制や検疫体制の話まで,  
幅広い内容が取り扱われている。水草に関しては  
「侵入する水生植物」として, 最近の急増する外  
来種の実態とその背景が報告されている。行政レ  
ベルでも取り組みが始まろうとしている移入種問  
題の今を知るために, たいへん参考になる。

(角野康郎)

○上赤博文著『ちょっと待ってケナフ! これ  
いいのビオトープ?』(地人書館, 2001年11月, A  
5版 183頁, 1,800円+税)

「環境にやさしい植物」として広まっているケ  
ナフがほんとうに環境にやさしいのか? という疑  
問を軸に, 良かれと思って行われている行為が日

本の自然を破壊している(あるいはその可能性が  
ある)現実について平易な言葉で問題提起してい  
る。公共事業や市民の取り組みの中でもしばしば  
行われている植栽やホタル, メダカ, コイの放流  
が何故問題か? ちまたで行われている「ビオト  
ープ」づくりは「自然復元」と言えるのだろうか?

善意で行われるこのような取り組みの問題点を,  
生物多様性の保全をキーワードに整理している。  
タイトルでは半分を占める「ビオトープ」に関す  
る部分が少ないのが物足りないが, 基本的な姿勢  
は打ち出されているので, 続編を期待することに  
しよう。本書はケナフや「ビオトープ」を進める  
学校の先生方や一般の方にこそ読んでいただきたい  
本である。 (角野康郎)

## ○水草関連文献リスト

<2001 — (1)>

浅野紘臣, 2001. アイガモ農法連用水田における  
雑草の発生数の変化. 雑草研究 46: 13  
-18.

浅野紘臣・磯部勝孝・兼平勉, 2001. アイガモ農  
法水田の継続期間と草種別発生数の変化—  
熊本県矢部町の事例—. 雑草研究 46:  
19-24.

浅野紘臣, 2001. 水田雑草の発生に及ぼす遮光の  
影響. 雑草研究 46: 31-36.

浅見佳世・中尾昌弘・赤松弘治・田村和也, 2001.  
水生生物の保全を目的とした放棄水田の  
植生管理手法に関する事例研究. ランド  
スケープ研究 64: 571-576.

稲村達也・山本卓司・吉田弘・杉山高世・西尾和  
明, 2001. クログワイの塊茎形成期にお  
ける遮光処理の強度と塊茎生産量. 雑草  
研究 46: 201-210.

植松 茂, 2001. 大都市札幌市におけるタヌキモ  
の大群落地新発見. 食虫植物研究会誌  
52: 81-82.

小原 洋・内野 彰・渡邊寛明, 2001. スルホニ

- ルウレア系除草剤抵抗性イヌホタルイ (*Scirpus juncooides* Roxb. var. *ohwianus* T. Koyama) の低温条件下での発芽. 雑草研究 46: 175-184.
- 北野一夫, 2001. 長峰山脈のヒシ (ヒシ属) について. くろしお (南紀生物同好会) (20): 20.
- 北野一夫, 2001. 和歌山県すさみ町で採集したヒメカンガレイ (カヤツリグサ科). 南紀生物 43: 82.
- 國井秀伸, 2001. 宍道湖・中海における水生絶滅危惧植物の分布. LAGUNA (汽水域研究) 8: 95-100.
- 小荒井晃・芝山秀次郎, 2001. 水田の代かき後における数種一年生雑草の発消長と出芽頻度. 雑草研究 46: 5-12.
- 後藤稔治・広木詔三, 2001. 大根山湿地 (岐阜県恵那市飯地町) の植生. 植物地理・分類研究 49: 57-62.
- 小林真吾, 2001. 愛媛県西条市に生育する水草の現状 (予報). 愛媛県総合科学博物館研究報告 (6): 33-37.
- 小宮定志・外山雅寛・沖田貞敏・柴田千晶, 2001. 北日本に分布するオオタヌキモ. 植物研究雑誌 76: 120-122.
- 小宮定志・柴田千晶, 2001. 羽生市宝蔵寺沼ムジナモ自生水域における環境の変遷 (1996-2000) 及びムジナモ他水生植物の放流実験. 日本歯科大学紀要 (一般教育系) (30): 143-180.
- 佐藤千芳・前田哲弥, 2001. ハタベカンガレイについて. 福岡の植物 (16): 17-18.
- 須賀英文, 2001. 水田産シャジクモ類の生態的特徴とその今昔. ため池の自然 (33): 6-7.
- 田中規夫・浅枝 隆・S. Karunaratne・谷本勝利, 2001. アシ *Phragmites australis* の生長に対する 湛水深の影響解析. 土木学会論文集 No.677/II-55: 141-150.
- 筒井貞雄, 2001. ツクシオオガヤツリに関する資料と雑感. 福岡の植物 (16): 37-46.
- 外山雅寛, 2001. 北海道でチビヒメタヌキモを発見 (第1報). 食虫植物研究会誌 52: 41-42.
- 西廣 淳・川口浩範・飯島博・藤原宣夫・鷺谷いづみ, 2001. 霞ヶ浦におけるアサザ個体群の衰退と種子による繁殖の現状. 応用生態工学 4: 39-48.
- 橋本裕美子・飯島 博・鷺谷いづみ, 2001. 絶滅危惧植物オニバスとミズアオイの繁殖生態とビオトープにおける管理. 保全生態学研究 6: 29-43.
- 福岡義洋, 2001. 尾張北部の河川の水草 (予報) その3. ため池の自然 (33): 14-16.
- 藤井俊夫・麻生 泉・小野 一, 2001. 三田市域に分布する溜池の現状と水草. 兵庫生物 12: 63-69.
- 前原 正・西山成実・西健治郎・石井 猛, 2001. ホテイアオイによる大気および水質浄化に関する研究. 水処理技術 42: 427-432.
- 汪 光熙, 2001. 水生植物の繁殖様式について. 雑草研究 46: 70-73.

(次号に続く)

[訂正] 前号 (No.72) の文献リスト p.38, 右側14行目.

(誤) Ishii, J. and Y. Kadono, 2000.

(正) Ishii, J. and Y. Kadono, 2001.